



答えは 14 ページに

議会だより

第45号

もくじ

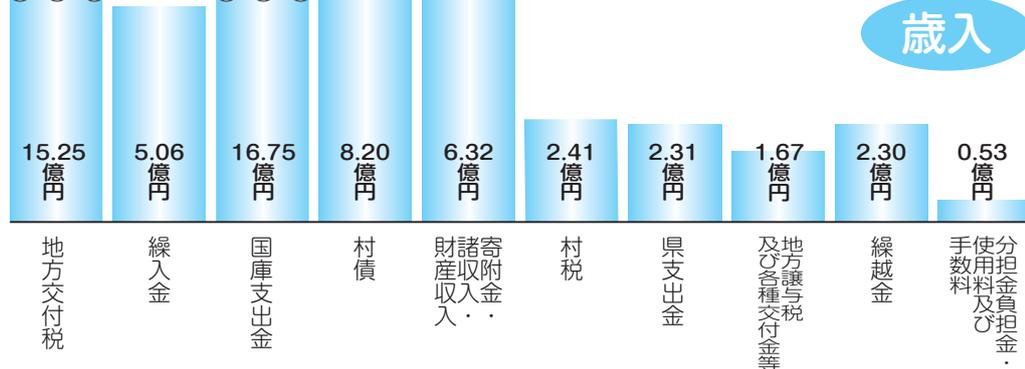
3月定例会……………	10	各会計補正予算……………	14
主な新規事業等……………	10	第1回臨時会・第2回臨時会…	15
特別会計当初予算……………	12	主な質疑……………	16
条例などの審議結果…	12	編集後記……………	22

000万円

前年度比 24.41%増

3月 定例会

歳入



令和7年第1回定例会は、3月5日(水)から7日(金)までの会期で開催され、条例改正13件、工事請負変更契約の締結4件、令和6年度各会計補正予算7件、令和7年度当初予算7件などが提案され、慎重に審議した結果、それぞれ原案どおり決定しました。

一般会計予算の総額は、前年度と比較して11億9,300万円増、24.41%の増額となりました。スポーツ環境整備事業において、令和6年度から7年度への予算組み替えと併せて事業費3億5,320万円の増、災害復旧事業費3億1,390万円の増、ふるさと寄附金2億円増の5億円を見込んだ積立金と関係経費の増額が主な要因です。

また、旧特別会計であった簡易水道事業、農業集落排水事業、林業集落排水事業、下水道事業は、公営企業会計へ移行して2年目を迎えます。

主な新規事業等

村政施行130周年 記念事業費

本年11月28日に村政施行130周年を迎えるにあたり記念式典を開催。

予算額
408万2,000円



RSウイルスワクチン 接種費用補助金

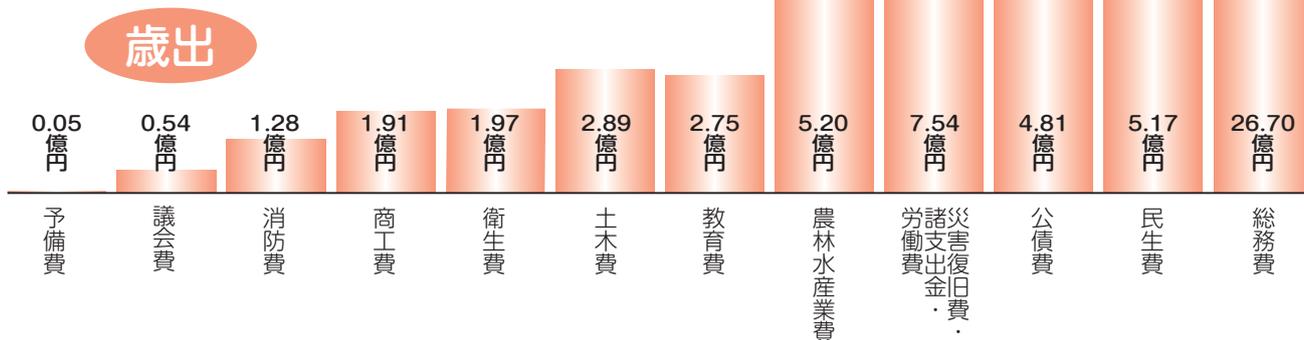
新生児の健康を守り、安心して出産・子育てできる環境を整備するため妊婦を対象に実施。

予算額
33万円



一般会計 当初予算

60億8,



旧岩野小学校利活用 事業

包括連携協定を締結した株式会社ハンモの水耕栽培事業のための施設維持管理費。

予算額
394万円



旧湯山小学校 改築工事

スポーツサイエンス事業やアスリート食堂を整備するための旧湯山小学校改築工事。

予算額
5億5,730万円

水上っ子みらい応援 助成金

物価高騰対策による子ども子育て支援として、子どものライフステージに応じた助成金を交付。

予算額
680万円



令和7年度特別会計当初予算 **7億6,650万円** 前年度比 2.73%増

国民健康保険特別会計(事業勘定) 予算

2億7,770万円
前年度比 2.73%減 

国民健康保険特別会計(直診勘定) 予算

990万円
前年度比 7.61%増 

介護保険特別会計予算

4億3,220万円
前年度比 6.69%増 

後期高齢者医療特別会計予算

4,670万円
前年度比 0.86%増 

令和7年度公営企業会計当初予算 **4億2,484万円** 前年度比 23.50%増

簡易水道事業会計予算

1億6,710万円

下水道事業会計予算

2億5,773万円

○条例などの審議結果（補正予算を除く）

議案番号	条 例 等	条例等の主な内容	審査の結果
議案第1号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	「拘禁刑」創設にともない関係条例を整理	可決 (全員賛成)
議案第2号	水上村一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定	給料表改定及び扶養手当、通勤手当等を改正	可決 (全員賛成)
議案第3号	水上村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	非常勤職員の育児休業等の取得要件の緩和	可決 (全員賛成)
議案第4号	公益的法人等への水上村職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定	上位法の改正による条例改正	可決 (全員賛成)
議案第5号	水上村職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例の制定	上位法の改正による条例改正	可決 (全員賛成)
議案第6号	水上村財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例の制定	普通財産の無償貸付け、減額貸付けの対象施設に廃校施設等を追加	可決 (全員賛成)

議案番号	条 例 等	条例等の主な内容	審査の結果
議案第7号	水上村消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定	消防団員退職報償金の勤務年数区分に「35年以上」を追加	可決 (全員賛成)
議案第8号	水上村営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定	村営住宅の一部を一般住宅へ変更	可決 (全員賛成)
議案第9号	水上村一般住宅管理条例の一部を改正する条例の制定	村営住宅の一部を一般住宅へ変更	可決 (全員賛成)
議案第10号	水上村簡易水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例の制定	布設工事監督者及び水道技術管理者の資格要件の緩和	可決 (全員賛成)
議案第11号	水上村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	関係施設の運営に関する基準の改正にともなう条例改正	可決 (全員賛成)
議案第12号	水上村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	関係施設の運営に関する基準の改正にともなう条例改正	可決 (全員賛成)
議案第13号	水上村簡易水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定	経営規模の変更（給水人口及び1日最大給水量）	可決 (全員賛成)
議案第14号	財産の取得	スポーツ環境整備事業にともなう用地の取得	可決 (全員賛成)
議案第15号	財産の処分	村有林及び県行造林の処分	可決 (全員賛成)
議案第16号	水上村生涯スポーツ施設の指定管理者の指定	一般社団法人トラックセッションを指定管理者へ指定	可決 (全員賛成)
議案第17号	工事請負変更契約の締結（林道上米良大平線災害復旧工事）	災害復旧工事に係る工事請負変更契約を締結	可決 (全員賛成)
議案第18号	工事請負変更契約の締結（林道幸野線災害復旧工事）	災害復旧工事に係る工事請負変更契約を締結	可決 (全員賛成)
議案第19号	工事請負変更契約の締結（美尾谷川河川災害復旧工事）	災害復旧工事に係る工事請負変更契約を締結	可決 (全員賛成)
議案第20号	工事請負変更契約の締結（大内川河川災害復旧工事）	災害復旧工事に係る工事請負変更契約を締結	可決 (全員賛成)
議案第21号	県営農業競争力強化農地整備事業に係る分担金額の決定	岩野地区（諏訪溝・小屋谷溝）の圃場整備等に係る分担金額の決定	可決 (全員賛成)
議案第22号	水上村総合計画の策定	第6次水上村総合計画の策定	可決 (全員賛成)
議案第23号	人吉球磨定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結	協定の一部を変更（主に地域公共交通に関する事項を追記）	可決 (全員賛成)
議案第24号	水上村商工会員の借入資金に関する預託	水上村商工会員の借入資金に関する預託	可決 (全員賛成)
	議員派遣の件		可決 (全員賛成)
	継続審査申出書		可決 (全員賛成)

— 一般会計補正予算 —

令和6年度水上村一般会計補正予算 (第9号)

歳入歳出予算の総額から11億5,850万円を減額し、総額を**43億2,740万円**とするもの。スポーツ環境整備事業費9億5,000万円を減額し、令和7年度当初予算に再計上。

— 特別会計補正予算 —

令和6年度水上村国民健康保険 特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額から988万8千円を減額し、総額を**2億7,720万2千円**とするもの。

令和6年度水上村国民健康保険 特別会計(直診勘定)補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額に41万2千円を追加し、総額を**989万4千円**とするもの。

令和6年度水上村介護保険 特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額に644万3千円を追加し、総額を**4億5,748万1千円**とするもの。

令和6年度水上村後期高齢者医療 特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額から101万9千円を減額し、総額を**4,549万8千円**とするもの。

— 公営企業会計補正予算 —

令和6年度水上村簡易水道事業 会計補正予算(第3号)

収益的支出の総額から8万6千円を減額し、総額を8,841万7千円、資本的支出の総額から44万9千円を減額し、総額を**2,103万7千円**とするもの。

令和6年度水上村下水道事業 会計補正予算(第2号)

収益的支出の総額から56万7千円を減額し、総額を1億445万6千円、資本的支出の総額から3,521万6千円を減額し、総額を**1億433万7千円**とするもの。

いずれも審議の結果、原案のとおり決定した。



「表紙の写真の答え：江代八幡神社」

戸屋野地区に鎮座する江代八幡神社は、水上村誌によると昭和27年、宗教法人八幡神社として承認されました。社殿には八幡神社と阿弥陀堂が祀られており、ご祭神は八幡大神。境内には正一位稻荷神社、江代八郎左衛門の碑、日露戦役戦勝記念碑があります。



日露戦役戦勝記念碑

第 1 回 臨 時 会

令和7年第1回臨時会が2月14日(金)に開催され、慎重に審議した結果、原案どおり決定した。

○条例などの審議結果（補正予算を除く）

議案番号	条 例 等	条例等の主な内容	審査の結果
	継続審査申出書について		可 決 (全員賛成)

○令和6年度水上村一般会計補正予算（第8号）

歳入歳出予算の総額に2億5,580万円を追加し、総額を54億8,590万円とするもの。ふるさと応援基金積立金1億1,500万円、価格高騰緊急支援給付金事業費1,266万6千円、ふるさと寄付金事業費1億2,813万4千円などが追加計上された。

第 2 回 臨 時 会

令和7年第2回臨時会が3月28日(金)に開催され、慎重に審議した結果、原案どおり決定した。

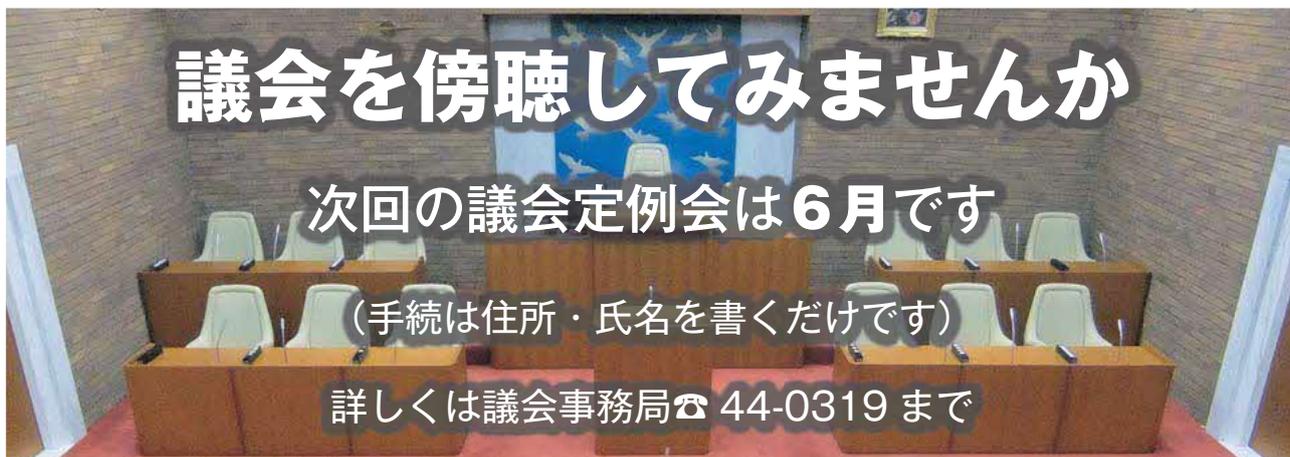
○条例などの審議結果（補正予算を除く）

議案番号	条 例 等	条例等の主な内容	審査の結果
議案第1号	水上村長等の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例の制定	旅費法の改正にともなう旅費（宿泊料）の増額	可 決 (全員賛成)
議案第2号	工事請負変更契約の締結（村道麦地湯山峠線道路災害復旧工事）	災害復旧工事に係る工事請負変更契約を締結	可 決 (全員賛成)
議案第3号	工事請負契約の締結	陸上競技場の用地造成工事（1工区）	可 決 (全員賛成)
	継続審査申出書について		可 決 (全員賛成)

○令和6年度水上村一般会計補正予算（第10号）

歳入歳出予算の総額に1億660万円を追加し、総額を44億3,400万円とするもの。こども育成支援基金積立金1億円、村道麦地湯山峠線道路災害復旧工事610万円などが追加計上された。

いずれも審議の結果、原案のとおり決定した。



— 令和7年第1回定例会 —

主な質疑

総務課関係

荒嶽 晋 議員

Q 村政施行130周年記念式典の期日、内容は。

A 総務課長

村政130周年の日が11月28日(金)となるため、開催は29日(土)、30日(日)のいずれかで考えている。開催場所については、水上学園体育館、駐車場をみどりの広場で検討中。

杉野貴文 議員

Q 村政130周年記念事業費に、ライブ配信等の費用は措置されているのか。

A 総務課長

措置されていない。今後業者を選定し、どのようなアトラクションを実施するかなど検討する中で考

えていきたい。

山崎隆浩 議員

Q 地方バス路線委託料(古屋敷線)が、昨年度より約400万円増額となったのか。



産交バス (まめバス)

A 総務課長

便数は変わらない。産交バスと単価の見直しがあり、燃料費高騰等と合わせ1.5倍ほどに増加している。



杉野久志 議員

Q 桜の下払いは中止になったのか。

A 総務課長

区長会からの要望もあり、高齢者も多く危険なため、令和7年度より中止となった。

小川 恵 議員

Q クリップングサービス利用料とはどのような内容か。

A 総務課長

熊日新聞の記事を利用する場合、著作権が発生するため、令和7年度より予算計上し活用していく。

保健福祉課関係

荒嶽 晋 議員

Q 今年度より新たな一般廃棄物処理施設建設への負担金が計上

されているが、建て替える場所は決定しているのか。

A 保健福祉課長

あさぎ町のリサイクルセンターを予定し、住民説明会も行っている。

山崎隆浩 議員

Q 備品購入される軟骨伝導集音器はどういうものか。

A 保健福祉課長

耳へかけることで軟骨を通し音声が行き渡るもの。各自治体で導入が進んでいる。(声を強調し、不要な雑音が除去される)程度までの難聴の方の窓口対応や高齢者宅訪問の際に活用したい。

Q 保育所給食材料費の予算減額は、物価高騰等を鑑みたときに問題ないか。



元気クラブ

A

担当職員

規定の保育単価により児童数に応じ算出しているため問題ない。

要望

今後、担当者にヒアリングを行いながら柔軟に進めてほしい。

小川 恵議員

Q

介護予防通所事業委託料の事業内容と増額の理由は、

A

担当職員

毎週木曜日に岩野公民館と石倉で身体を動かすことをメインに行っている

る事業。(株)熊本健康支援研究所へ委託している。新たに参加者の送迎を依頼することから66万円増となる。

税務住民課関係

杉野貴文議員

Q

国有財産等交付金が減少傾向にある。中でも市房ダム交付金の減少が大き

A

額があるのか。税務住民課長

非課税団体である国・県が有する資産については、固定資産税に代わり交付金として配分される。資産は経年で評価額が下が

る。下限額はその資産の100分の5が限度となり、そのうちの1・4%が交付金となる。

山崎隆浩議員

Q

戸籍の振り仮名について、今後新生児に名前を付ける際の判断基準はどうなるのか。

A

税務住民課長

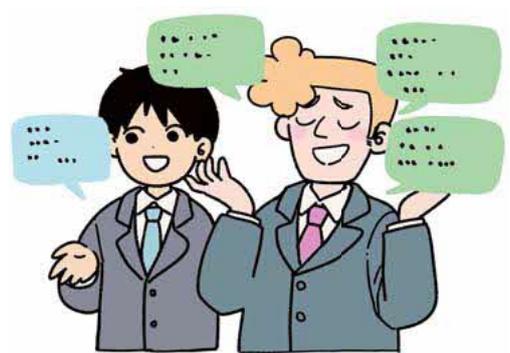
キラキラネームについては、国から振り仮名の判断基準の通知がきている。今後も国の基準に沿って判断をしていく。

Q

外国人の方が窓口に来られた時の言語対応はどうしているのか。担当職員

A

外国人の方が通訳者を同伴されるので、その方を介して対応している。



産業振興課関係

荒嶽 晋議員

Q

桜の管理について、総合計画アンケートや座談会等で日本一の桜の里の復活をぜひ、というような意見がでていた。桜の更新は何年かかると見込んでいるのか。担当職員

A

令和5年度から改植を本格的に始め、令和6年では40本

の伐採と100本の植栽を実施している。令和7年も同規模で計画し2年から3年程度で開花するので、その後伐採を進めていく。植栽した桜の成長を観察しつつ、かつ桜の景観を維持しながら更新を進めていくので、8年ほどかかると思う。

杉野貴文議員

Q

旧岩野小学校利活用事業費の財源として、諸収入142万9千円が充当されている。(株)ハンモからの収入と考えるが、何の費用に充てるのか。担当職員

A

6月から施設整備を計画しており、6月からの10ヶ月分



ほいほい広場のムササビくん

の電気料と警備委託料に充てている。

成尾和英議員

桜の里公園施設管理費の修繕料1、405万3千円は、どこを予定しているのか。

担当職員

ほいほい広場の遊具、ムササビくんとすべり台の修繕を計画している。

建設課関係

荒嶽晋議員

水道管等の老朽化は全国的な問題として取り上げられている。本村の水道改修はいつ頃になる予定か。

建設課長

湯山地区は来年度実施設計を予定しており、まず配水池までの整備に取りかかることとなる。改修工事は順調にいつて令和8年度からの着手。岩野地区は必要水量を確保できていないため、その後になる。

小川恵議員

水道凍結防止栓設置補助対象戸数の716戸は、全世帯ではないと思う

が。また、設置できない水道もあると聞いたが。



建設課長

全世帯から村営住宅の数を除いた戸数になる。設置については、蛇口全部を取り換える方法とひねる部分を取り換える方法があり、どちらかで対応できる。

杉野貴文議員

交通安全対策補助金5,236万円の事業内容は、建設課長

地方創生推進課関係

杉野久志議員

大石酒造の工場から役場側へ200mほどの区間。2車線から1車線になり、カーブで見通しが悪い場所の拡張。

市房ダム周辺整備計画とはどのような内容か。

担当職員

現在の第2次市房ダム湖周辺整備計画書には、国道388号線の道路照明整備など9つ

提言

杉野貴文議員

の主要事業と村道湯山江代線全線改良など4つの関連事業が明記されている。次期計画書の策定については、第2次計画の進捗状況を確認し関係機関と協議し進めていく。

昨年12月定例会において計画書の見直しに関して一般質問をしている。その際、担当課長からは、重点事業計画として早い段階での策定を検討したいとの答弁があった。本村の生活環境基盤整備の促進を後押しする計画にしたい。



市房ダム

小川 恵議員

情報発信サービス
利用料の内容は。

担当職員

ふるさと納税寄附者などに、メールを通じて水上村の観光や移住定住などの情報を定期的に発信し、切れ目なく水上村のPRを行うサービス。

山崎隆浩 議員

ふるさと納税をされた方へメールの発信をした効果の確認方法は。また、メールにより来村された施設利用者にメリットがあるような次なる事業展開の考えは。

担当職員

メールの中に観光情報やふるさと納税返礼品のリンクを貼り付け、ク

リック率や寄附のリピート率で効果測定を行っている。

また、メールを見て来村された方への特典は今後検討していく。

荒嶽 晋議員

サテライトオフィスの活用を推進するために、補助金の支出以外に新たな取り組みとして考えていることは。

担当職員

湯山サテライトオフィスは、新年度4月に企業1社が契約締結の予定。岩野サテライトオフィスはこの2年間活用がなかったが、3社が視察しており、年度内に契約できるよう調整している。また、1年契約としているが随時更新して

教育課関係

いく予定である。

米本宗徳 議員

スクールバス運転手1名の正規採用で5人体制での運行となるが、現況に変化はあるか。

教育課長

正職員運転手2名となり、スクールバス4台を5人で運行できるため、負担増であった勤務時間に余裕ができた。

小川 恵議員

昨年度よりスクールバス連絡アプリ使用料を計上されているが、現時点までに問題はなかったか。

教育課長

欠席連絡など夜間

でも入力できることから保護者の負担軽減となり、同時に教育課、学園も把握でき業務改善にもつながっている。

山崎隆浩 議員

湯山地区の子供会が4団体から1団体となる。活動助成金において1団体2万円の算出となることは保護者へ説明はされたのか。また、意見はなかったか。

教育課長

昨年より担当課も協議に参加し説明を行い、保護者の了承を得ている。

子供会が一つになったことで効率よく活動せざるを得ない。子供会活動が窮屈にならないように注視してもら

いたい。

荒嶽 晋議員

学園が一体型となり1年が過ぎた。現在までの子ども達の様子に変化はあったか。

教育課長

最初は戸惑いもあつたようだが、今では一緒に遊べて嬉しいと話している。他校を視察に行ったが、どの学校も落ち着くまでに4、5年はかかるか聞いた。



どんどやを楽しむ子どもたち

「村のこと」をもっと身近に

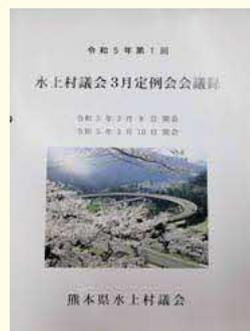
議会会議録、ホームページ公開へ

2月14日(金)に開催された全員協議会で、本村議会の会議録を村のホームページに公開することとなりました。

議会本会議の審議については、地方自治法の規定により公開が原則となっており、会期中に議場に出向くと傍聴が可能で、会議録は議会事務局に申請すればいつでも閲覧ができるようになっています。しかし、傍聴者や閲覧を希望される方は少ないのが現状です。

議会においても、これまで仕事で傍聴が叶わなかった方、交通の便などで傍聴したくてもできなかった方もおられると考えています。パソコン、スマートフォンの普及により、情報は場所・時間を問わず入手できる時代になりました。ホームページを通じて審議内容を村民に積極的に公開することで、議会や行政に少しでも興味を持っていただいて、「村のこと」をより深く知る機会になればと期待します。

ホームページへの公開時期については、6月中旬を予定しています。



本会議の会議録(実物)

不測の事態に国民の命を守れるのか

食料自給率の向上は安全保障の要

1月23日(木)、熊本県町村議会議員研修会が開催され、「日本農業の課題」と題しオンライン講演があり議員全員が受講した。

講師の鈴木氏は、日本の農業政策について、世界的な食料需給情勢の悪化を踏まえ、市場原理主義の限界を認識し、肥料、飼料、燃料などの暴騰にもかかわらず農産物の販売価格は上がらず、農家は赤字にあえぎ、廃業が激増している中で、不測の事態にも国民の命を



日本の農業の課題をテーマに研修を受講

守れるように国内生産への支援を早急に強化し、食料自給率を高める抜本的な政策を打ち出すことが重要であるとの持論を展開され、日本の食料安全保障には強い危機感を持たれていた。

単に経済的な効率性だけでなく、国家の安全保障、環境への配慮、地域社会の維持、そして生産者や消費者の利益といった多様な要素を考慮し、持続可能で強靱な食料供給体制を構築するための議論の重要性を深く認識した研修となった。

講演 「日本農業の課題」

講師 東京大学特任教授 名誉教授 鈴木 宣弘 氏

読者目線を最優先！

魅力ある議会だよりが議会改革に

1月31日(金)、上球磨正副議長会による広報研修会があさぎり町役場第二庁舎会議室で開催され、本村議会から正副議長、広報委員、合わせて5名が参加した。

当日は、高まる情報ニーズに対応するため「広報の役割を確認」、議会だよりの事例を用いて「現在地の確認」、議会広報はネクストステージへと「今後の課題を探る」をテーマに研修があった。手にしてもらえ、見てもらえ、読んでもらえる議会だよりにするため、創意工夫を重ねていきたい。



広報の役割について考える上球磨の広報委員

講演 「議会改革の一步は広報紙改革から」

講師 くまもと経済 政治経済部 記者 みやざき 宮崎 たいき 泰樹 氏

くま鉄全線開通へ全力

郡市議会での初の合同研修

2月19日(水)、球磨郡町村議会議長会と人吉市議会との合同研修会が錦町の福寿庵で初開催され、郡市の議会議員が一堂に会するこれまでにない試みとなった。

当日は、くま川鉄道(株)の永江社長による講演があり、令和2年7月豪雨災害からの復興に全力で立ち向かう中、赤字経営がクローズアップされることの多いくま川鉄道がテーマであったが、特に郡市の高校生にとっては必要不可欠な通学の足であり、郡市の歴史と文化の継承、公共交通、教育、観光などの地域づくりの観点だけでなく、地域の存続そのものを担う最も重要なインフラの一つと言っても過言ではないだろう。郡市に共通する課題の解決に向けては、地域全体で考える機会がもっと必要である。



熱意を語るくま川鉄道(株)永江社長

講演 「くま川鉄道の存在意義」

講師 くま川鉄道(株) 取締役社長 ながえ 永江 ゆうじ 友二 氏

あなたのまちは持続可能ですか？

様々なデータ収集と分析力向上を！

2月20日(木)、令和6年度上球磨町
村議会議員研修会が多良木町の石倉
で開催され、議員全員が参加した。
講演は「まちに10～15年後、どんな
人材が必要になりますか？どんな人
材を必要としたいですか？」という問
いから始まった。

講演では、明確な結論を導くため
には様々なデータを集め、そのデー
タを分析し、効果的な政策を実施す
ることが重要であると強調された。

持続可能なまちを目指すためには、まず役場自体が持続可能であることが不可欠。様々な
リスクに対応し、住民が安心して暮らせる環境を整えるためには、デジタル環境の整備と
人材育成が必要であり、デジタルデータを見る力や仮説思考能力の向上が求められる。こ
れにより地域課題を解決し、政策の質を向上し続けることが重要である。



データ分析の重要性を説く長内氏

講演 「持続可能なまちの前に持続可能な役場ですか？」

講師 一般社団法人 地方公共団体政策支援機構 上席研究員 おさない 長内 しんご 紳悟 氏

編集後記

咲き誇った桜もいつしか葉桜の
季節となりました。皆さま、いか
がお過ごしでしょうか。

さて、過日『なぜ女性は活躍し
ないといけないのですか？』とい
う1文から始まる記事に心揺さぶ
られ、「女性が活躍する社会は誰
かに押し付けられるものではな
く、私たちがつくっていく」の言
葉にとても共感しました。

これは3月8日朝刊の「国際女
性デー」のコラムです。毎年3月
8日は女性の権利向上と社会参加
を呼びかける日とし、世界各地で
様々な取り組みが行
われています。

「女性の地位向上」
とはなんだと思いま
すか？

それは単に権利を
与えられることでは
なく、仕事、家庭、
育児あらゆる場面で
その力を最大限に発
揮できる社会環境を
整えることではない

でしょうか。

今年、阿蘇市に県内初の女性市
長が誕生しました。この新しい一
歩が性別に関係なく、一人ひとり
の力を活かし合える社会となるこ
とを願っています。

広報特別委員会

委員長 荒嶽 晋
副委員長 山崎隆浩
委員 小川 恵
杉野貴文



国際女性デーのシンボルである「ミモザ」

小川 恵